

市議会だより



5月臨時会 (5月19日)

審議事項：議案3件、報告4件

6月定例会 (6月8日～6月25日)

審議事項：議案47件、報告17件、陳情1件
委員会審査、一般質問

編集／発行
福井市議会だより編集委員会
福井市大手3丁目10番1号
令和8年8月25日

表紙写真：金福すいか・銀福すいか

議会の構成

◆ 野嶋 祐記 議長



野嶋議長は市議当選6回で、この間、副議長のほか、総務委員会委員長、教育民生委員会委員長、議会運営委員会委員長、県都の魅力創出対策特別委員会委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市松本1-34-26

◆ 玉村 正人 副議長



玉村副議長は市議当選4回で、この間、副議長のほか、教育民生委員会委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市御幸2-4-19

(敬称略)

委員会名		委 員 名					◎委員長 ○副委員長
常任委員会	総 務	◎榊原 光賀 漆崎 與	○高田 稔浩 宮岡 勝也	見谷 喜代三	野嶋 祐記	下畑 健二	
	建 設	◎浦上 逸人 玉村 正人	○藤田 諭 近藤 實	皆川 信正 菅生 敬一	今村 辰和	鈴木 正樹	
	教育民生	◎佐野 弘 岩佐 武彦	○酒井 良樹 津田 かおり	堀川 秀樹 葛野 早智代	堀江 廣海	伊藤 洋一	
	経済企業	◎村田 耕一 池上 優徳	○青木 幹雄 寺島 恭也	奥島 光晴 山田 文葉	田中 義乃	八田 一以	
議会運営委員会		◎皆川 信正 藤田 諭	○伊藤 洋一 菅生 敬一	見谷 喜代三 池上 優徳	堀川 秀樹 葛野 早智代	村田 耕一 浦上 逸人	
特別委員会	未来につなげる 地域交通対策	◎池上 優徳 酒井 良樹	○田中 義乃 榊原 光賀	藤田 諭 漆崎 與	菅生 敬一 高田 稔浩	山田 文葉 佐野 弘	

議会選出の各役職一覧

監査委員	今村 辰和 葛野 早智代
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	野嶋 祐記 玉村 正人 見谷 喜代三 堀江 廣海 酒井 良樹
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	野嶋 祐記 青木 幹雄 下畑 健二
都市計画審議会委員	伊藤 洋一 浦上 逸人
社会福祉審議会民生委員審査専門分科会委員	佐野 弘
青少年問題協議会委員	漆崎 與
少年愛護センター運営委員会委員	堀川 秀樹 津田 かおり
社会教育委員	鈴木 正樹 藤田 諭 寺島 恭也
通学区域審議会委員	奥島 光晴 榊原 光賀 高田 稔浩
学校給食運営委員会委員	田中 義乃 玉村 正人 葛野 早智代

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10月11ページに掲載しています。

5月臨時会

人事案件

○監査委員

監査委員の欠員を補充するため、今村辰和氏と葛野早智代氏を選任することに同意しました。

○固定資産評価員

固定資産評価員の辞任に伴う欠員を補充するため、塚本泰行氏を選任することに同意しました。

6月定例会

令和8年度補正予算

6月補正予算は、長引く物価高騰の影響を受けている市民生活及び地域経済への支援をはじめ、難聴のある高齢者への補聴器の購入支援、部活動の地域展開に伴う地域クラブの活動等に対する支援など、各種施策を推進するための取組について計上するものです。今回の補正予算の規模は、

一般会計で12億575万8千円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,389億575万8千円、全会計では2,599億7,075万8千円となります。

※補正予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。



【主要事業】

Ⅰ 物価高騰への対応に関する事業
・ふくいプレミアム商品券第2弾（物価高騰対応事業）

Ⅱ 各種施策を推進するための取組

- ・耳から元気に！高齢者「聞こえ」サポート事業
- ・民生委員活動助成事業
- ・地域スポーツクラブ・文化クラブ活動推進事業
- ・地場産プラスワン給食事業
- ・私立教育・保育施設等整備補助事業
- ・市場de生まれる「ふくいサームーン」支援事業
- ・漁港機能復旧事業
- ・最高裁判決に係る生活保護扶助費追加給付事務体制整備事業

条例

- ・国民年金システム改修事業
- ・道路災害復旧事業

○福井市市税賦課徴収条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、特定暗号資産に係る譲渡所得等に係る個人の市民税の課税の特例の新設その他所要の規定の整備を行うものです。

○福井市印鑑条例の一部改正について

漢字圏の外国人住民のうち本国における公的な身分証明書において氏名に漢字が使用されない者が、片仮名表記による印鑑登録を受けることを可能とするため、条例の一部改正をするものです。

○福井市介護保険条例の一部改正について

令和7年度税制改正による給与所得控除の見直しに伴う介護保険法施行令の一部改正を受け、令和8年度の介護保険料について、前年度非課税者に係る保険料を減免する特例を定めるものです。

人事案件

○教育委員会教育長

令和8年6月26日に任期満了となる吉川雄二氏の後任として、秦計代氏を教育長に任命することに同意しました。

○農業委員会委員

令和8年7月19日に任期満了となる農業委員会委員に34名の委員を任命することに同意しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
（委員会終了順に掲載）

まちづくりと環境
まちづくり対策特別委員会



《アリーナ構想の進捗と今後のロードマップについて》

問 実施設計を来年1月までに完了し、今年度は杭の発注、来年3月から準備工に着手するということだが、その間の業者選定のスケジュールはどうするのか。また、実際に建設工事が始まると、今般の中東情勢による物価高騰や資材不足がどのぐらい影響すると考えているのか。

答 業者選定のスケジュールについては、今年の夏頃から選定を開始し、1か月半から2か月をかけてプロポーザルを実施したいと考えている。中東情勢による影響について

では、建設費総額を150億円としているが、試算した段階ではこのような中東での情勢は発生していなかったことから、今後の整備費がどうなるかについては、業者を選定する中で、ゼネコン各社から意見を伺わないと把握はできない。

問 現在、商工会議所が建設費に充てる寄附の募集を進めており、予定どおり寄附が集まっているのか。また、その進捗は、どのような状況か。

答 寄附及び企業版ふるさと納税について、株式会社福井アリーナで調達するべき目標額を15億円としている。このうち、商工会議所が議員企業を中心に集める寄附の当初の目標額は5億円だが、現

在の進捗としては、200社
余りの企業を訪問し、6億8
千万円ぐらいのめどがついて
おり、最終的には8億円ぐら
いまで見込めると考えている。
残りの7億円については、企
業版ふるさと納税での確保を
進めており、私どもとしては
集められる見通しを持ってい
るが、今後のことを見据え、
可能な限り寄附を増やしてい
きたい。

要望 これまでの経済界からの
説明でもあったように、
福井駅からアリーナに歩いて
行くことを想定するのであれ
ば、雨に濡れない対応が必要で
ある。全国では福井アリーナに
しかないというような設備等
も考慮し、雨風の状況でも心配
なく歩いて行けることが発信
できるような、ほかのアリーナ
と差別化が図られる取組をお
願いたい。

建設委員会



《民事調停の申立て及び調
停不成立等の場合におけ
る訴えの提起について》

問 道路の陥没箇所を発見し
た際には、監理課や道路

課に連絡するという認識を、市
民の方に日頃から持っていた
だけでなく、市役所からの
遠隔地の場合は、市民の方が速
やかに通報できるようなシス
テムによる対応も重要である。
通報があった後、速やかに復旧
や補修などの対応を行うこと
で、事故を未然に防ぐことがで
きるものと考えている。今回は民事
調停を申し立てるとのことだが、
このような案件で、毎年、相
当数の示談が行われており、そ
の金額もかなりの額となってい
る。道路の損傷や危険箇所に関
する通報によるもので、復旧
や補修などの対応を行った件
数は年間どのくらいあるのか。

答 通報に関しては、市民から
の電話連絡のほか、道路損
傷の情報提供に関する連携協
定を結んでいる郵便局からの
通報や、福井地区建設業会から
の情報提供もある。さらに、令
和4年からは、市の公式ライン
により写真付きで通報するこ
とも可能になっている。道路損
傷等の通報や情報提供、市職員
による巡回での発見などによ
り、令和7年度は約2,000
件の道路補修を行った。

要望 市民が市道のように利用
している区道などで、事故

や事件に発展するおそれのあ
る道路の損傷については、市と
して指導を行うなど、しっかりと
対策を講じてほしい。

総務委員会



《第九次福井市総合計画の策
定について》

問 第九次福井市総合計画で
は、計画策定前にパブ
リックコメント以外にも市民
の意見を募集しているが、こ
のような取組は今回が初めて
なのか。また、今後も計画策
定の際には、策定前に市民の
声を広く聴くようなことを実
施していくのか。

答 これまでも公募委員も含
めた総合計画審議会で意
見を伺ってきたが、策定前に広
く市民の意見を募集したのは、
今回が初めてであり、次期総合
計画の策定においても、広く市
民の意見を募っていききたいと
考えている。また、西行市政の
基本的な姿勢として、市民の声
にしっかりと耳を傾け、状況を
把握した上で、それに対応した
施策を考えることがベースにあ
ることから、今後策定する計画
についても、市民の声を聴いて

進めていくことは共通である
と考えている。今後も引き続き、
市民に寄り添い、意見を伺いな
がら市政運営を進めていく。

経済企業委員会



《市場で生まれる「ふくいサ
ーモン」支援事業について》

問 ふ化育成の施設整備に要
する経費を支援するとの
ことだが、施設整備とは具体的
にどのような内容か。また、整
備費はいくらかかり、そのうち
何割を市が補助するのか。

答 整備内容は、サーモンを卵
からふ化させ、10グラムぐ
らいの稚魚まで育てるふ化育
成施設として、中央卸売市場内
に発泡ウレタン製のドームハ
ウスを造り、その中に水槽、沈
殿槽、ろ過槽などの設備を整備
するものである。その整備に必
要な費用としては、水槽等が1,
900万円、ドームハウスが1,
634万円であり、このうち
ドームハウスの税抜費用に対
し、補助率2分の1の740万
円を市が補助する。

問 これまでサーモンのふ化
育成はどのように行って

いたのか。また、卵からふ化
した後はどうなるのか。

答 令和6年度から7年度に
かけて中央卸売市場内の
ふ化実験施設において、水量
が1トンの水槽内で、卵から
ふ化するか、井戸水が適合す
るかどうかなどの実験を行っ
てきた。今回、ふ化率が80%
以上になったことから、水量
が6トンの水槽のテストプラ
ントを造り、育成を行うこと
となった。

中央卸売市場内の施設で育
成した稚魚を、大野市にある
中間育成施設で1年ほど育て
た後、嶺南の海面養殖場で育
成する。ふ化から約17か月の
育成期間を経て中央卸売市場
から流通させることを考えて
いる。

教育民生委員会



《公立中学校における平和
教育及び校外学習の政治
的中立性と安全確保を求
める陳情について》

意見 現時点において、本市で
は十分な対応ができてい
ることから不採択とすべき、
との意見があった。

一般質問

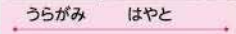
当面する諸問題について市の考え方を問うため、6月15日から17日までの3日間、24人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

① 浦上 逸人 (一真会) 1 物価高騰への対応について 2 新グリーンセンターについて 3 図書館について	⑨ 鈴木 正樹 (日本共産党) 1 アメリカのイラン攻撃の影響について (外交、医療、建設、融資、アリーナへの影響など) 2 市内の医療や介護施設の送迎事業への支援について 3 防災の当番待機職員の待遇について	⑬ 堀江 廣海 (一真会) 1 まちづくりについて
② 榊原 光賀 (一真会) 1 本市のインフラ整備について	⑩ 寺島 恭也 (一真会) 1 地域防災・防犯について	⑭ 佐野 弘 (一真会) 1 学校規模適正化の進捗と中学校部活動の地域展開について 2 少子化対策の推進について 3 中東情勢を踏まえた市内企業の経済活動支援について
③ 田中 義乃 (新政会) 1 西行カラーについて 2 北陸新幹線福井開業効果について 3 県都まちなか再生ファンドについて 4 福井市観光振興計画について	⑪ 八田 一以 (一真会) 1 地方創生について	⑮ 山田 文葉 (日本共産党) 1 自治会型デイホーム事業について 2 物価高騰対策について 3 障がい者就労支援事業について 4 教育への政治の介入について
④ 酒井 良樹 (市民クラブ) 1 福井市DX推進計画について 2 パス路線再編のビジョン (素案) について 3 ハラスメント対策について	⑫ 青木 幹雄 (一真会) 1 特色あるまちづくりについて 2 市長ビジョンロードマップについて 3 第九次福井市総合計画について	⑯ 高田 稔浩 (市民クラブ) 1 高齢者に対する福井市成年後見制度利用支援事業について 2 福井アリーナ (仮称) について 3 ハピラインふくい越前花堂駅のバリアフリー化について 4 道路側溝の清掃・泥上げ支援について
⑤ 津田 かおり (公明党) 1 高齢者支援について 2 少子化対策について 3 バリアフリーの特段の推進について 4 生命 (いのち) の安全教育について	⑬ 近藤 實 (無所属) 1 福井市の景観向上 2 入湯税 (目的税) の適切な支出を 3 プレミアム商品券10億円の補正予算は反対 4 令和7年度の福井市一般会計実質収支、実質単年度収支の見込みは 5 中期財政計画ローリングへの提言 (再) 6 福井アリーナについての様々な懸念 7 アリーナ構想が成功するための条件: 50億円を経済界が出資すること 8 財政調整基金の積立 9 新グリーンセンターの余熱利用によるアグリパーク整備支援事業	⑰ 下畑 健二 (公明党) 1 福井市行財政改革指針について 2 中東情勢の影響について 3 災害時の避難行動に繋がる取組について
⑥ 池上 優徳 (一真会) 1 持続可能な地域づくりについて	⑭ 皆川 信正 (一真会) 1 アリーナ構想について 2 防犯カメラ設置 (補助) について 3 鳥獣害対策について 4 ゴミの分別変更について 5 スポーツ課について 6 ふくい自動運転導入プロジェクトについて	⑱ 村田 耕一 (市民クラブ) 1 本市の防災行政について 2 本市における若年就業者等の支援と取組について 3 本市の高齢者への支援について
⑦ 奥島 光晴 (新政会) 1 高齢者の全国スポーツ大会出場者への激励金について 2 橋本左内先生の生誕祭、墓前祭について 3 中学校の部活動地域移行と熊本市教育委員会の考え方について 4 本市の防災・減災啓発の政策的位置づけについて	⑮ 岩佐 武彦 (無所属) 1 中学校部活動の遠征について 2 中東情勢の不安定化による農業への影響について 3 一乗谷朝倉氏遺跡の観光振興について 4 ゴミの不法投棄対策について	⑳ 漆崎 興 (一真会) 1 健康づくりについて 2 農業問題について
⑧ 堀川 秀樹 (市民クラブ) 1 車椅子利用の市職員が時間外および休日に登退庁する際の不都合の解消について 2 部活動の地域移行にともなう地域クラブへのサポートについて		㉑ 宮岡 勝也 (無所属) 1 市民幸福度向上に向けた健康政策と未病対策について 2 農福連携の推進について 3 香害への理解促進と配慮について 4 GIGAスクール構想におけるタブレット端末更新について 5 空き家対策について 6 生活道路における交通安全対策について
		㉒ 菅生 敬一 (公明党) 1 ふくい自動運転導入プロジェクトについて 2 第九次福井市総合計画について 3 防災について 4 学習障害について

各議員の一般質問要旨は、6ページから10ページに掲載しています。

一般質問要旨



一真会

質問

回答

点、全体の進捗率は、5月末時
 稼働で46.8%となり、令和
 9年度10月までは予定どおり
 のペースで見込んでいた。今
 年、物価が高騰していること
 が増額が見込まれる原因とな
 る。今後は、契約書に基づき
 適切に適用等、契約書に基
 づき適切な対応をしていく。
 い、新設では、現金での支
 払いに追加して、クレジットカード
 や交通系電子マネー、二
 次元的な決済などに対応する
 キヤッシュレス決済の導入を計
 画している。また、環境の未
 だ整備されていないところ
 を、市と連携して、学
 校の環境を整える。また、
 市内の民間企業に、人
 員の派遣をお願いする。また、
 意図的な減量、リサイクル、
 意識的な取り組みを行う。

議員



一真会

質問

回答

中東情勢による資材価格の上昇等については、本市が発注する工事を円滑に実施する上で影響があると懸念されるため、適切な対応を行っているところである。

発注前の対応策として、積算に用いる単価の改正を毎月行っており、最新の資材価格により積算した設計工事費に基づき発注している。

また、発注後の対応策としては、福井市工事請負契約約款に定める単品スライド条項を用いて、受注者からの請求により請負代金額の変更ができることとしている。

議員



1000

質問

回答

令和7年度末までの支援実績については、個別店舗のリノベーションや、建物の新築あるいは建て替え等の比較規模の大きな案件など、延べ52件、県と市あわせて約4億8,800万円の支援である。

本事業を実施することで、中央1丁目地区の空き店舗率は本年2月の調査で9.4%となり、平成18年度の調査開始以来最少となるなど、新たな出店が寄与していると認識している。

なお、本事業の成果と課題について、現在、検証作業を進めているところであり、この検証結果を踏まえ、県とも協議しながら、本事業の今後の方針について検討していく。

議員



市氏ノリ

質問

回答

再編については、地域の特性にに応じて、最適な交通手段を整備していく必要があると考えている。

オンデマンド交通実証運行の概要については、昨年度の実証運行の結果を踏まえ、今年度は11月頃に北東部地域において約1か月間の実施を予定している。実証運行を通じて利用傾向やニーズの把握を行っていく。

また、A・オンデマンド交通とは、利用者からの予約状況に応じて、A・が複数の予約を組み合わせて、運行する交通サービスであり、路線やダイヤを設定せず、需要に応じて柔軟に運行できる点が特徴である。従来のできる交通手段と比較して、より利便性の高い移動手段となるため、地域住民の皆様と協議しながら、今後も導入に向けた検討を進めていく。

議員



公明党

身寄りの

回答

身寄りのない方やご遺族の行政手続きにかかる負担軽減は、本市としても重要な課題であると同認識している。現在、民間企業と連携し、終活や死後事務に関する情報を一元化した終活ガイドブックの作成について検討を進めている。

これまで本市では、広報ふくいやご遺族サポートハンドブックを活用し、ごみの出し方について周知を行ってきた。今後はごみの出し方や許可業者への依頼方法、許可業者リストの情報やごみ出しに関する相談窓口を掲載した、手に取りやすく、分かりやすいチラシの作成に加え、市の窓口への配置や関係機関への提供と配布依頼についても検討していく。

持続可能な地域づくりについて

質問

越前加賀海岸国定公園の中心をなす越前・国見・鷹巣の各地区において、越前海岸という観光資源をどのように活かすとともに、それを支える国道305号の特性を踏まえながら、具体的にどのように越前海岸地域の活性化へとつなげていくのか。

回答

国道305号は越前海岸を南北に結ぶ幹線道路であり、観光誘客において極めて重要な道路である。新幹線福井開業後は、観光客の越前海岸への周遊を促進するため、美しい夕日を紹介するドライブマップの作成や夕日と音楽を楽しむ「灯のタペ」を実施した。今年度は新たに謎解きイベントにも取り組んでいる。今後この道路を活用して越前海岸が持つ豊かな自然のポテンシャルを最大限に引き出す取組を実施し、イベントなどを通じて多くの観光客に訪れていただくことで越前海岸地域の活性化につなげていく。



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

郷土の偉人橋本左内先生の生誕祭・墓前祭への学童の参列について

質問

コロナ禍前までは地元小学校の高学年が参列していたが、近年は見られない。教育効果からも、祭の場に身を置くことで、左内先生の偉大さを肌で感じ、啓発録をより理解し、福井への誇りと愛する心の醸成の一助になるのではないかと参列をしてもらってはどうか。

回答

現在、中高生は代表生徒が参加している。小学生の参加については、例えば、代表児童の参加など、改めて顕彰会事務局と学校が協議していただくことはできるのではないかと考える。橋本左内先生は本市ゆかりの偉人であり、学校教育においても大切に受け継がれている人物である。実際、市の小学生向け副読本や中学校の立志式で志や生き方が紹介されるなど、教育活動の中で広く取り上げられている。今後も橋本左内先生の功績や精神をしつかりと次世代へ継承していくことが重要だと考える。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

部活動の地域移行にともなう地域クラブへのサポートについて

質問

活動を円滑に進めるための環境整備や予算、指導者に対する支援、練習開始時間並びに練習時間に照明が使用できない問題や道具の崩壊、道具の保管場所について等。指導者を任せられている教員が異動になった時の人事配置上の配慮はあるのか？

回答

休日の活動に対する経費補助や、経済的困窮世帯に対する地域クラブの参加費、保険料の支援を行うほか、特別教室の利用に際し、セキュリティ対策等の安全確保に係る予算を計上している。平日の練習は、指導者の配置や活動場所が確保できれば、放課後速やかに活動できる。ナイト照明は、利用実態等を踏まえ、使用可能時間や運営方法の見直しを検討する。部活動の道具の崩壊や保管場所の確保は、クラブ側のニーズ把握や学校用品の取扱いに関する課題等を整理した上で検討していく。教員の異動は、今年度からクラブ活動等での指導状況を定める一つの要素として先考している。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

アメリカのイラン攻撃の影響について

質問

中東情勢が市内企業に与える影響は小さくはないと考えられるがどうか？そして、コロナ禍の時にいったようなゼロセロ融資のような思い切った支援策が必要と考えるが、国に融資緩和策を求めたり市として行う考えはないのか？

回答

中東情勢の影響は市内企業に及んでいると認識している。本市では、返済支援策として、借り換えにより返済負担の低減を図る経営安定借換資金を制度融資として設けており、利用に際しては金融相談員の聞き取りに基づき、返済計画の助言などの経営支援を行っている。また、県では4月に制度融資の経営安定資金のメニューに中東情勢対応分が新たに創設され、従来より要件が緩和されている。中小事業者への支援に関する国への要望は、県において実施しているところであり、今後も県及び他自治体や関係団体と連携しながら、国に対して市内中小企業の声を届けていく。



すずき しんじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

地域防災・防犯について

質問

本市は、県に対し毎年、特別重要要望として、河川改修事業（都市基盤河川改修事業）馬渡川排水ポンプの更新増強をすることを要望しているが、改修等が進んでいないようなので、進捗状況を伺う。

回答

九頭竜川との合流点に設置されている、馬渡川排水機場の排水ポンプは、昭和41年に農業用として設置され、既に60年が経過している。さらに設置当時と比べ、流域の宅地化が著しく進んでいることから、ポンプの更新に併せた排水能力の増強が必要であるため、令和元年度から本市の特別重要要望として、管理者である県に対し継続して要望を行っているところである。現在のところ、具体的な更新時期や事業化については、県から明確な方針は示されていないが、本市としては、排水機場の老朽化の状況や、流域全体の浸水リスクを県と共有しながら、排水ポンプの更新増強が早期に実現されるよう、粘り強く要望していく。



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会



地方創生について

質問

福井北ジャンクション・インターチェンジは、地域経済牽引事業の促進を図るべき第一番目の区域であって、日本海国土軸の要石である。市長は、知事とともに、国の「地域未来戦略」の初動にあわせて、その周辺の開発に着手すべきである。いつやるか？今でしょ！

回答

県と嶺北市町で策定した福井県嶺北地域基本計画では、特に重点的に地域経済牽引事業の促進を図るべき区域が定められており、本市では、福井インターチェンジや福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の交通結節点を含む10か所が該当し、一定の条件を満たす場合に、企業立地助成金の助成率を高上げしている。

今後、県が策定予定の地域産業成長プランにおいて、それら10か所のエリアが産業クラスター拠点となり、本市の基幹産業の発展や成長産業の集積につながる計画となるよう、県と十分に議論を重ねていく。



今後の移動に関わる公共交通のあり方について

質問

本市は、マスタープランでの分野別に中心市街地、周辺近郊、農山漁村地域と分けられているが、市民の移動に関わる事業においてどこまで移動しても同一とする施策が必要と考えるが、今後の公共交通のあり方についてどのような進めるのか。

回答

本市では、都市交通戦略において、「地域をつなぐ『全域交通ネットワーク』づくり」を都市交通の目標に掲げ、その実現に向けて、施策を推進している。

交通事業者や地域、関係機関と連携しながら、運転不足という構造的な課題に対応しつつ、市民の日常生活を支える公共交通ネットワークの維持・確保と利便性向上の両立を図る。あわせて、中心市街地や周辺市街地、農山漁村地域それぞれの実情に応じた、地域に必要な移動サービスの確保と、限られた交通資源の効率的な活用を進めることで、将来にわたり誰もが安心して移動できる持続可能な地域公共交通の実現に努めていく。



アリーナ構想が成功する条件..50億円を経済界が出資すること

質問

福井市の上場企業は昨年度過去最高益を上げたところが多い。福井県、福井市より遥かに財政状況は良い。お金を出すということは将来に巨額の責任を持つこと。

県、市のR6年度決算は厳しい状況だったが建設資金、様々な負担を合わせ夫々50億円以上を出すのです。

回答

本事業の資金調達については、総事業費150億円のうち、寄附や企業版ふるさと納税等により25億円を経済界が確保する計画となっている。これは経済界において様々な観点から検討・調整が行われた結果として示されたものとして認識している。アリーナ事業は、あくまで民設民営の事業であり、その資金協力については各企業の自主的な判断に委ねられるべきものと考えている。このため、市として特定の企業と交渉を行う立場にはないが、福井商工会議所が中心となつて約200社の企業訪問を行い、寄附金等を集めているとの報告があり、幅広い支援が得られることを期待しているところである。



防犯カメラ設置について

質問

防犯カメラ設置は犯罪抑止と真相究明の大切な手段でもあるが、個人情報保護法などがあるから、個人情報保護法などをつくるために市としての施策の推進をどのように進めてきたのか。また、数値目標等があれば、それらについての見解を求めたい。

回答

本市では、自治会等が設置する防犯カメラの初期整備費用に対して助成している。設置を促進するため、毎年度初めに全自治会連合会に案内するとともに、ホームページにて広報するなどしている。また、警察からも市民に対して防犯カメラの設置の広報や設置場所等の指導をいただくなど、連携した取組を行っている。設置に当たっては、個人情報保護法に配慮した適正な取り扱いになるよう、市のガイドラインに基づき、自治会で設置・運用要領を策定し、撮影範囲内の住人の同意を得ることとしている。

設置に関する数値目標はないが、最大で480台程度を目指している。本市としては、安全で安心な地域づくり等に大変有効であるため、今後も、補助事業の周知・広報に努め、防犯カメラの設置を促進していく。



ゴミの不法投棄対策について

質問

河川敷に捨てられた家庭ゴミや山中、林道、空き地など人目のつかない場所に電化製品などの不法投棄があつたと絶たない。

不法投棄が繰り返される場所について本市としてどの程度把握しているのか。また、今後不法投棄対策をどのように強化していくのか、伺う。

回答

本市では、河川敷等の目付に付きにくい場所など、不法投棄されやすい場所を巡回パトロールするほか、市民からの通報等により、不法投棄箇所を把握しており、現在、42地点を要監視地点として定め、重点的な監視を行っている。

不法投棄の未然防止対策として、希望する自治会への不法投棄防止看板の配布や、自治会連合会に侵入防止柵の設置や監視カメラの購入及び不法投棄物撤去の費用を助成する制度等を設けている。

今後とも、市民からの通報や地域の実情に応じて、巡回パトロールや監視カメラによる監視体制の充実を図るとともに、引き続き不法投棄対策に取り組む自治会等を支援するなど、不法投棄の未然防止により一層努めていく。



まちづくりについて

質問

県営産業団地は、本市における新しい産業の受け皿として期待されているが、企業誘致に向けた現時点での取組と今後の計画はどうなっているか。また、市の役割と、県との連携の考え方について伺う。

回答

県営産業団地について、令和9年度中の分譲開始に向けた具体的な取組としては、5月から、ターゲット業種などの絞り込み、産業団地全体のPR等について、県と協議をスタートさせたところである。今後の計画としては、企業の立地ニーズや産業動向を把握した上で、ターゲット企業の絞り込みを行っていく。その後、県と市が秋頃からターゲット企業への訪問を実施し、市長自らもトップセールスを行うことで、本市の強みを最大限アピールしていく。また、県外に向けた産業団地のPR活動として、これまで参加していない業界の展示会における企業との接触や、業界専門メディアへの広告掲載など、県と緊密に連携しながら取り組んでいく。



学校規模適正化の進捗と今後のスケジュールについて

質問

福井市学校規模適正化委員会の答申から6年余り経過したが、依然として複式学級を抱えていたり、部活動に支障をきたす小規模校が存在している。他市においても学校再編論が高まっている中、本市における今後の方針とスケジュールを伺う。

回答

令和2年の学校規模適正化検討委員会からの答申では、8地域について提言があり、そのうち要望書が提出された3地域において、学校の2校化、新設、統廃合を行った。しかしながら、それ以外の地域では、本市による説明や情報提供を行ったほか、地域内で協議等が行われた事例はあるが、合意形成には至っていない。一方で、答申時の想定を上回るペースで児童数が減少していることから、市全域での規模、配置の適正化の見直しを図るとともに、今年度新設した教育政策課を中心に、地域との協議の場を設ける等の取り組みを進めていきたいと考えている。



自治会型デイホーム事業について

質問

自治会型デイホーム事業は認知症の発症や下肢筋力の低下など心身の衰えを予防し、地域の人と人を結ぶ重要な取組である。減額した福井市社会福祉協議会からの支援金を元に戻し、利用者の参加費の引上げや、開催数の減少を元に戻すべき。

回答

市社会福祉協議会から各地区に対する運営補助の減額は、参加費見直しにより各地区の収入が増えることによるものであり、補助の減額は自治会型デイホーム事業の運営に係る人件費に充てられている。なお、参加費は飲食代や活動材料費など個人的消費の性格が強い経費の範囲内で設定しており、今回の見直しも受益者負担として適切な範囲内であると考えている。開催数は各地区で年間60回を基本としているが、一部の地区では60回を超えて実施している例もあり、地域支えあい推進員の過度な負担を防ぎ、事業を持続的に運営する観点から無理のない運営となるようお願いしており、これに伴う回数の見直しはやむを得ないものだと考えている。



福井アリーナ(仮称)のバリアフリー化について

質問

「福井市観光振興計画」を受け、楽しむことができる環境づくりに、高齢者・障がい者等の意見を、福井アリーナ(仮称)の設計の段階から積極的に受け入れるべきだと考えるが、市の所見は。

回答

福井アリーナは、事業計画案において、多様な人々、多世代の人々の地域交流拠点として位置付けられており、「福井市観光振興計画」にも示されている高齢者・障がい者等を含む様々な立場の方が楽しめる環境づくりは、重要な視点であると認識している。整備会社からは、障がいのある方にも安心・快適に利用できる施設となるよう整備を進めていくこと、また、興行やイベント時に、障がいのある方を含めたあらゆる方々が快適に利用できるよう配慮するという方針が示されており、この方針に沿って設計が進められているものと考えている。



中東情勢のアリーナ建設への影響について

質問

アリーナ建設が順調に推移する事を前提にして、福井市は東公園周辺道路整備の設計依頼や市民への寄付依頼もスケジュール通り実施しているが不安はないか？アリーナ建設の今後の見通しについて本市の見解を伺う。

回答

現在、本市では、主に周辺道路整備の実施設計に向けて取り組んでおり、夏頃の発注を予定している。寄附金については総合受付ウェブページを6月1日に開設し、これまでのところ、本市におけるスケジュールは概ね計画どおりに進捗している。しかしながら、中東情勢に端を発したサプライチェーンの影響により、一般的には建設資材の搬入遅延等により工程が遅れるような状況が発生している中、本市としても、今後は様々な面で影響を想定しながら対応する必要があると考えている。整備会社及び本市の事業スケジュールについて、これらの影響により遅れが生じることがないよう、県とも連携を密にし、情勢の把握に努めている。



本市の防災行政について

質問

大規模災害が発生した場合、市民によっては指定緊急避難場所が集まらずに、直接、指定避難所に避難する場合や別の地区の避難所へ避難することが想定されるが、本市では避難者の状況確認をどのようにしているのか。

回答

地区の指定避難所へ避難できず、在宅や車中、別の地区の避難所などに避難された方については、その方が地区住民かどうかを問わず、自主防災組織等の活動を通じて、状況把握や安否確認の情報収集を行うことになる。

さらに、本市では、郵便局と「被災市民の安否情報及び避難先情報等の相互提供」についての災害時応援協定を締結していることから、郵便局からも広く避難者の情報の収集を行う。



健康づくりについて

質問

本市では、口腔ケア対策が、健康寿命の延伸や介護予防にどのように寄与すると考えているのか。また、本市における口腔ケア対策の現状と課題をどのように整理し、どのように施策に位置づけ、どのように取り組んでいくのか。

回答

本市では、これまで、「健康ふくふくプラン21」及び「すまいるオアシスプラン」に基づき、歯科検診の受診勧奨や歯科衛生士等による健康教室など、口腔ケアの普及啓発を中心に取り組んできた。

一方で、口腔機能の低下は自覚されにくく、受診につながらにくいことに加え、口腔機能の低下を未然に防ぐオーラルフレイル予防の取組については、十分と言えないことが課題となっている。

今後は、歯科医師会など関係機関と連携し、効果的な受診勧奨に努めるとともに、口腔体操や日常生活の中で継続できるオーラルフレイル予防の取組を充実させ、口腔機能の維持・向上を図ることなどで、生涯を通じた口腔の健康づくりを推進していく。



香害への理解促進と配慮について

質問

近年国民生活センターには、柔軟剤や香水、消臭剤などの香りによって体調不良を訴える相談が報告されている。香害と呼ばれるものである。より多くの市民へ情報を届けるため、市役所ロビーや公共施設等で香害に関するパネル展示を実施する考えはないのか。

回答

香害や化学物質過敏症に関する正しい知識の理解と普及を図る観点から、公共施設でのパネル展示は有効な手法の一つであると考えており、今後実施について検討していく。



ふくい自動運転導入プロジェクトについて

質問

バスの運行ルートの選定理由と、自動運転バスが他の交通へ与える影響について伺う。

回答

本プロジェクトでは、「すまいるバス北ルート」の運行経路の一部を代替するルートとし、走行環境も、既存のバス路線の道路を基本とした、歩道や消雪設備が整備された片側2車線の道路を中心に構成されたルートである。そのため、走行時での安全性を着実に検証することができ、来年度のレベル4の実装に最も適したルートとして選定している。

ルートは、福井駅周辺部という特性から信号交差点が多く、速度が出にくい走行環境で、使用する車両は、自動運転時の最高速度が時速40キロメートルで制限速度に近い速度で走行が可能である。また、片側2車線で、バス停車帯も整備されている箇所もあることから、後続車による追い越しが可能で、運行時間も、比較的交通量の少ない日中を想定している。これらを踏まえ、他の交通への影響は、限定的であると考えている。

(5月臨時会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11員に賛成)
第31号議案	監査委員の選任について	5月19日 同意	
第32号議案	監査委員の選任について	// //	
第33号議案	固定資産評価員の選任について	// //	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	// 承認	
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度福井市一般会計補正予算)	// //	
第3号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	// 受理	
第4号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	// //	

(6月定例会) 議案等の審議結果				
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第34号議案	令和8年度福井市一般会計補正予算	6月25日	原案可決	●
第35号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	●
第36号議案	福井市印鑑条例の一部改正について	〃	〃	
第37号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	〃	〃	
第38号議案	工事請負契約の締結について(福井市美術館設備更新事業)	〃	〃	
第39号議案	工事請負契約の変更について(清水中学校校舎・体育館・外1棟外壁改修工事)	〃	〃	
第40号議案	財産の取得について(救助工作車)	〃	〃	●
第41号議案	財産の取得について(タブレット端末一式)	〃	〃	●
第42号議案	第九次福井市総合計画の策定について	〃	〃	●
第43号議案	民事調停の申立て及び調停不成立等の場合における訴えの提起について	〃	〃	
第44号議案	財産の取得について(除雪ドーザ)	〃	〃	
第45号議案	教育委員会教育長の任命について	〃	同意	
第46～80号議案	農業委員会委員の任命について	〃	〃	
第5号報告	令和7年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月8日	受理	
第6号報告	令和7年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第7号報告	令和7年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	〃	〃	
第8号報告	令和7年度福井市競輪特別会計継続費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第9号報告	令和7年度福井市中央卸売市場特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第10号報告	令和7年度福井市水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第11号報告	令和7年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第12号報告	令和7年度福井市簡易水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第13号報告	令和7年度福井市下水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第14号報告	令和7年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第15号報告	令和7年度福井市集落排水事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第16号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	〃	〃	
第17号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃	
第18号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃	
第19号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴えの提起について)	〃	〃	
第20号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和7年度決算に関する報告について	〃	〃	
第21号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和8年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
陳情第11号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	6月25日	不採択	

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対

※原則、議長(野嶋祐記)は採決に加わりません。

議案番号	会派名 議員名	審議 結果	一真会											新政会				市民クラブ				公明党		日本共産党		無所属																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			見谷喜代三	皆川信正	青木幹雄	今村辰和	堀江廣海	八田一以	池上優徳	寺島恭也	榎原光賀	葛野早智代	浦上逸人	漆崎與弘	佐野祐記	野嶋光晴	奥島洋一	伊藤諭	藤田義乃	田中秀樹	堀川耕一	村田正人	玉村良樹	酒井稔浩	高田健二	下畑敬一	菅生敬一	津田かおり	鈴木正樹	山田文葉	近藤實	岩佐武彦	宮岡勝也																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6月定例会																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
第34号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議長の動静(令和8年4月～6月)

4月21日	中核市市議会議長会 総会(埼玉県)
23日	北信越市議会議長会 評議員会、定期総会(長野県)
5月15日	福井県市町振興協会 理事会
26日	全国市議会議長会 理事会(東京都)
27日	全国市議会議長会 定期総会(東京都)
28日	全国市議会議員共済会 代議員会(東京都)
29日	全国競輪主催地議会議長会 近畿部会 定期総会
6月3日	福井市北陸新幹線建設促進協議会 総会
4日	全国競輪主催地議会議長会 定期総会(東京都)

定例会外の議会日程(令和8年4月～6月)

4月28日	議会運営委員会
5月13日	みちづくり・ひとづくり・まちづくり対策特別委員会
6月1日	議員全員協議会、議会運営委員会

5月臨時会

5月19日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議
-------	---------------------

6月定例会

6月8日	本会議
9日	議会運営委員会
15日	本会議(一般質問)
16日	本会議(一般質問)
17日	本会議(一般質問)
18日	総務委員会 建設委員会
19日	教育民生委員会 経済企業委員会
23日	議会運営委員会
25日	議員全員協議会、本会議

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
未来につなげる地域交通対策 特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。

※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課

TEL.0776-20-5510

編集後記

市議会は、市民のみなさまの生活に直接関わるさまざまな施策を決定する機関です。議員それぞれが市民の声を直接聞き市政に反映するため、さまざまな活動をしています。まさに市議会は市民のみなさまにとって「近くて近い」存在なのですが、実感としては「近くて遠い」存在に感じられている方が多いと思います。「市議会だより」を通して、少しでも市議会が身近に感じられるよう編集委員会のメンバーと共に取り組んでまいりますので今後ともよろしく願いいたします。(編集委員 村田)

福井市議会だより編集委員会

委員長 村田 耕一 副委員長 浦上 逸人
委員 漆崎 與、酒井 良樹、山田 文葉、
田中 義乃、伊藤 洋一、下畑 健二

》》》 次回は 9 月定例会 です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、コミュニティチャンネル092chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

